

政策コメンテーター報告(第5回)(意見照会期間:2015年10月22日～11月4日):樋口 美雄 慶應義塾大学商学部教授

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示しているのをご参照ください。	悪くなっている	個人消費は底堅い動きになっており、求人倍率のわずかながら上昇している。しかし輸出の伸びは弱く、生産においても伸び悩んでいる。
「経済・財政一体改革」に向けた取組			
2	改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	-	現在、提示されているKPIでよいと考えるが、この検証に使う各種の公的統計において改善すべき余地が大きく、信頼できる統計のあり方について、真摯な検討が求められる。